

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】令和5年8月4日(2023.8.4)

【公開番号】特開2022-35362(P2022-35362A)

【公開日】令和4年3月4日(2022.3.4)

【年通号数】公開公報(特許)2022-039

【出願番号】特願2020-139615(P2020-139615)

【国際特許分類】

F 16 F 15/129(2006.01)

10

F 16 F 15/123(2006.01)

F 16 D 13/64(2006.01)

【F I】

F 16 F 15/129 C

F 16 F 15/123 A

F 16 D 13/64 A

F 16 D 13/64 G

【手続補正書】

【提出日】令和5年7月24日(2023.7.24)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項4】

前記摩擦部材は、前記第1弹性部材の前記第1回転方向側の端面に当接する第1当接部と、前記第2弹性部材の前記第2回転方向側の端面に当接する第2当接部と、を有している。

請求項1から3のいずれかに記載のダンパ装置。

30

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0048

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0048】

4つのストップ用突起42bは、フランジ42の外周面から径方向外方に突出して形成されている。各ストップ用突起42bが形成された位置は、各収容部401, 402の円周方向の中央部の径方向外方である。そして、入力側プレート30とハブフランジ40とが互いに相対回転した際に、ストップ用突起42bが第1プレート31のストップ部31aに当接することにより、入力側プレート30とハブフランジ40との相対回転が禁止される。

40

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0091

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0091】

図15は、捩り角度1°から中立状態に移行した状態を示している。ここでは、入力側プレートIPは摩擦部材FPとともに、中立状態に戻り、この間は、ヒステリシストルク

50

は発生しない。

【手続補正4】

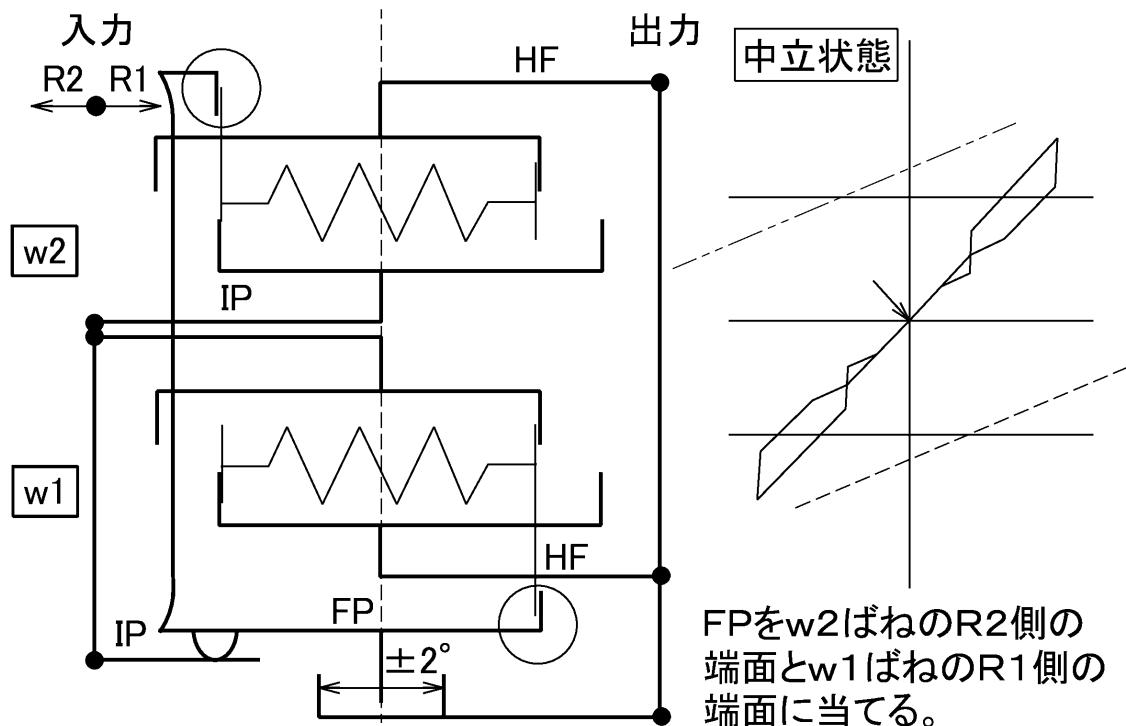
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図8】



10

20

30

40

50